

NO.1224

2019年(平成31年)

●八千代の人口 19万8,858人(+108人) 男 9万8,377人(+49人) 女 10万481人(+59人)

●**八千代の世帯 8万8,527世帯**(+**79**世帯) 30年12月末現在。()内は前月比

節のバトンをつなぐあなたの勇気を

輸

▲400mlの全血献血は、男性は17歳女性は18歳~69歳が対象。65歳以上の場合は、60歳~64歳の間に献血をしたことがある人になります

医療が発達した現在でも、人工的につくれない血液。全国で一日に約3,000人

しかし、ここ10年で10~30代の献血者数が3割以上も減少。このままのペース で減少すると、若い世代の人口が減る一方で輸血を必要とする人の割合はますま す増えることから、安定供給ができなくなるおそれがあります。献血にかかる時 間は全血献血400mlで40分程度。最初は不安かもしれませんが、一歩踏み出せば その先には生きる希望を持つ人たちが待っています。もしものとき、家族や友人 の笑顔を守るためにも、命のバトンをつなぐあなたの勇気と協力が必要です。

今号の紙面から

- ◆ひとりで抱え込まずに 福祉総合相談室へ相談を……2
- ◆生涯学習ボランティアバンク 制度で学習のきっかけづくりを…3
- ◆広報やちよ青少年版 「言葉のキャッチボール」……4

いる病気やけがの治療で輸血が必要な人を支えているのが献血です。

血が必要な人を支えるために

▼選考方法 書類選考。応募書類は非公開、返却しません。結 郵送、 持参または市ホームページ 「市民委員の公募」 から応募 ての学校の役割と 045大和田138-2教育委員会学務課へ とは」と題した800字程度の作文を添え 「知します ▼問い合わせ 教育委員会学務

半市の審議会などの **童・生徒の保護者。年3回程度行う平日の会議に参加でき、** に住所、氏名 市内小・中学校の 3人 ▼任期 応募資格 (フリガナ)、電話番号、生年月日、年齢、性 応募方法 3月15日金必着で、任意のA4用 理由を記入し「地域コミュニティの拠点と 委員を5つ以上兼ねていない人 ▼募集人 適正配置について協議(調査・審議)する 5月頃から2年間 ▼報酬 会議1回につ 在住で、市内の小・中学校に在籍している 適正配置検討委員会の委員を募集します。

巾学校適正配 の市民委員

製品など)、③バター |交流センターと市内観光いちご園 | ▼内容 ①市内観光いち||▼日時 3月17日⑪午前10時~午後3時 | ▼場所 やちよ農 (参加費300円) ントも盛りだくさんです。 入園料の割引券配布、②農産物や加工品の直売(野菜・乳 衛門鍋や各種キッチンカー、⑧キッズダン 、⑨輪投げやビーズ作りなどの子供ゲーム 、⑤模擬搾乳体験、⑥産業用ドローン・農 昆虫販売。割引券や農産物などはなくなり 作り(参加費200円)、④いちごジャム作 い合わせ 農業交流センター面(406)

|&ミルク祭りは3月17日

穫期のいちご、

農産物の販売やバンド演奏のほか、体験イ

よっては、試験を中 止する場合があります。

7ストです」と3回繰り返し、「こちらは、防災やちよです」 本市では、防災無線チャイムの後に「これは、Jアラートの 無線チャイムが流れます。気象状況などに (総合防災課)

るため、全国一斉情報伝達試験として2月20日水午前11時頃に 時警報システム) 災無線の試験放送を行います。 地震や武力攻撃などの緊急時に、国からJアラート(全国瞬 より送られてくる情報を確実にお知らせす 全 国 放送を行い 一斉情報伝達試験 ます

0

発行/八千代市 〒276-8501千葉県八千代市大和田新田312-5 **面**047-483-1151代表 **図**047-484-8824代表 発行日/毎月1日·15日 編集/総務企画部広報広聴課